

平成26年3月26日

パンばさみの変更について

1 趣旨

現在、学校給食で使用しているパンばさみは、ここ数年、児童・生徒、教職員から、児童の手の大きさや握力ではつかみにくく、はさみ辛いため配食しづらい等の声が多く寄せられるようになりました。

そこで、平成25年10月に、給食センター職員によるトング検討プロジェクトを立ち上げました。学校の意見を踏まえ、児童がより配食しやすく、配食にかかる時間が少しでも短くなるような物へ移行できないか検討を行いました。

2 内容

検討条件を、現行のパンばさみよりも挟む力の強いもの・挟む面積の広いもの、児童の手の大きさにあうもの、バネ等がないもの、簡易な構造のもの、長期的に使用が可能なもの、以上5点としました。この検討条件に当てはまる「やわらかバネトング」で検討を進め、小学校2校で試行し、教職員にアンケートを実施し、その中で、現行の物より試行したトングの方が良いと言う声が多く、また評価を得られたため変更する、という結論に達しました。

3 実施時期

平成26年5月以降小学校順次